

令和5年度 須賀川市立西袋中学校の教育

《学校経営の理念》

《めざす学校像》

- 生徒が安心して楽しく学べる学校
- 生徒一人一人が夢や希望をもち、その実現を目指し意欲的に活動する学校
- 「勤労・勤勉」「自主・自律」の校風を基盤とし、誠実に活動する学校
- 保護者や地域と連携し、信頼される学校

《学校経営の方針》

- ①校長のリーダーシップのもと、クリエイティブかつ実践力を伴う教職員集団を育成する。【学校運営組織の整備】
- ②「地域の核となる学校」として信頼される学校を目指す。【学校・家庭・地域との連携・情報発信】
- ③生徒一人一人の学びを保障する。【授業の質の向上】
- ④安全・安心を基盤とした教育活動を展開し、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に万全を期す。【安全・安心な学校づくり】
- ⑤教職員の個性や資質・能力を的確に把握し、その職能を開発し十分発揮できるよう支援する。【教職員の不祥事防止】
- ⑥次世代を担う教職員を同僚性を活かし育成する。【次世代を担う教員の育成】
- ⑦生徒、保護者、地域の信頼に支えられた持続可能な学校づくりを目指す。【教員の働き方改革】

- ◎地域の核となる学校として、活気と品格ある学校を創造する。
- ◎生徒一人一人が持つ能力や可能性を引き出し、生徒の夢の実現に向けた教育活動を実践する。

教 育 目 標

- 《基本目標》
豊かな心をもち、実践力のあるたくましい生徒
- 《具体目標》
- 明朗な生徒
 - ねばり強い生徒
 - 深く考える生徒

本年度の重点

【目指す生徒像】

《重点目標》

生きる力を身に付けた生徒

○ 明朗な生徒

- 健康で安全な生活習慣を身に付け、進んで体力の向上・健康の保持増進に努める。(心身の健康)
- 他者との望ましい関わり方を考え、積極的に行動する。(自他の尊重)

- ① 健康で安全な生活を送ろうとする意識の高揚
 - 組織的な健康相談、教育相談を実施する。
 - いじめ、交通事故絶無のための指導を徹底する。
- ② 体づくり、体力づくりの推進
 - 保健体育の授業や部活動、学校行事の関連を図った運営により効果を高める。
 - 体力テストの結果をもとに、小学校と連携を図りながら体力の向上を図る。
 - 健康な心身を培うために、家庭における望ましい食生活の実践について連携を図る。
- ③ 一人一人を認め合う学年・学級集団の育成
 - 学級における人間関係づくりを意識した学級経営を実践する。
 - 個を生かす場面を意図的に設定し、自己存在感や満足感を味わうことができるように努める。

- 不登校傾向生徒への支援（不登校0を目指す）
- 日常生活アンケートによる生徒の実態把握と教育相談（チャンス相談）の実施
- 自分手帳の活用
- 日常的な交通指導の実施（交通事故0）
- 安全で衛生的な給食、食事のマナー等の指導
- 部活動への積極的参加（部活動指導員の有効活用）

○ ねばり強い生徒

- 自分の立場や役割を自覚し、責任ある行動ができる。(役割と責任)
- 目標を持ち、その実現に向けて継続的に努力する。(理想の実現)

- ① 道徳教育の充実
 - 心に響く道徳教育を展開するため道徳の授業の充実を図り、豊かな人間性の育成に努める。
 - 教科の指導内容や学校行事との関連を図るとともに、地域の特色を生かした体験活動等を通して道徳性を養う。
- ② 学級活動や委員会活動の充実
 - リーダーの育成や一人一人の役割、責任を明確にした係活動や委員会活動等を運営する。
 - 学習や諸活動において、お互いを認め合い、高め合う学級・学年集団づくりに努める。
- ③ 豊かな体験活動の拡充
 - キャリア教育の充実を図り、職業体験などの活動を実施する。
 - 保護者や地域との連携を図ったボランティア活動を推進する。

- 特別な教科道徳の指導充実
- 生徒会・学級活動の充実（一人一役）
- 情報の収集・共有と組織的対応（いじめ0）
- 体験活動（1年）・職場体験（2年）・探究学習（3年）の実施
- ジュニアボランティア育成講座への積極的参加
- キャリアパスポートの有効活用

○ 深く考える生徒

- 課題解決に向けて主体的・対話的に学ぶ学習態度や週間を身に付け、自ら問題に気づき、正しい判断に基づいて解決することができる。(課題対応能力)

- ① 「わかる・できる授業」の実践
 - 1時間ごとのめあてを明示し、分かったことを自分のことばでまとめる時間を確保する。
 - 各教科で表現力の育成をめざした授業を実践し、「読む・聞く・話す・書く」等の言語活動を意図的に位置づけ、表現力を育成する。
 - 読書活動を継続的に推進し、内容を素早く読み取る力を育成する。
- ② 家庭学習のあり方の改善と習慣化
 - 保護者との連携により、家庭学習の時間を確保させる。
 - 自主学習ノートの効果的な取り組み方を指導する。
- ③ 校内研修の活性化
 - 一人1研究授業を行い、事前と事後の協議を通じて指導力の向上に努める。
 - 学力の実態把握に努め、生徒の実態を踏まえながら指導法を改善する。

- 学力テスト数値目標（全国・県平均超）
- 図書館教育の更なる充実（読書年間10冊以上）
- 家庭学習の定着と改善（自主学習ノート100%提出）
- 各種コンクールへの積極的参加
- 研究授業の実施・参加（一人1授業実践）
- タブレットPCの積極的活用

《県中教育事務所学校教育指導の重点》より

「夢」や「願い」がかなう教育の推進

- ① まなび：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ② きずな：一人一人が安心して学べる環境づくり
- ③ そだち：体力向上と運動習慣の定着に向けた取組の充実
- ④ とともに：「交流及び共同学習」や多様な学びの場の充実・整備の推進
- ⑤ つなぐ：複雑な社会の課題を主体的に解決する力の育成

《須賀川市学校教育の重点》

子どもの自尊意識を高め、個性や生き抜く力を育む学校教育の推進

- ① 確かな学力の育成
 - 目指す学力の明確化と授業改善
 - 学びの基盤づくり
- ② 豊かな心の育成
 - 道徳教育の充実
 - 組織的・体系的な生徒指導
- ③ 健やかな体の育成
 - 体力・運動能力向上策の推進
 - 健康教育と安全教育の充実

